

科目名	相談援助の理論と方法Ⅱ						
Course Name	Social Work Theory and Methods Ⅱ						
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊信成						
連絡先(質問等)	福祉棟 3F 研究室か、メールで対応。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	D22、DP3、DP4						
授業の概要と到達目標	<p>相談援助における人と環境の相互作用に関する理論について学習し、援助の対象と様々な実践モデルについて理解する。さらに相談援助のプロセスとそれに係る知識と技術について理解を深めていく。特にⅡでは相談援助の理論と方法Ⅰで学んだ基礎知識をもとに、より実践的な知識と技術について理解を深めていく。</p> <p>①相談援助専門職として、より具体的な知識及び技術を学び、実践力を身につけ、説明することができるようにする。</p> <p>②相談援助専門職として、効果的なアプローチ法は何かを判断し、それを実行することができるようにする。</p> <p>③相談援助の理論と方法についてマスターし、社会福祉士国家試験に合格できるレベルの知識と技術を修得することができるようにする。</p>						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉士国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	社会福祉に関する相談援助活動の専門職としての知識および技術を学び、具体的かつ実践的に創造でき、総合的・客観的に対応できる能力と洞察力を備えることができる。					
	L03	ソーシャルワーカーとして総合的・客観的に対応できる能力と洞察力を養えることができる。特にⅡではソーシャルワーカーとして即戦力となり得る知識と技術について修得できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	『相談援助の理論と方法Ⅱ』弘文堂 他 授業中に指示し、資料を配布する。※「相談援助の理論と方法Ⅰ」で使用したテキストも使います。						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにすること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。原則、「相談援助の理論と方法Ⅱ」だけの履修は認められない。「相談援助の理論と方法Ⅰ」を履修しておくこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		
発表					

小テスト					
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。			60	
その他					
合計				40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など) 相談援助の社会性について
	事前・事後学習	相談援助の社会性とはどのようなものなのかについて各自調べておくこと。
2	授業内容	ケースマネジメントとケアマネジメントについて
	事前・事後学習	ケースマネジメントとケアマネジメントの相違についてノートにまとめておくこと。
3	授業内容	アウトリーチとは
	事前・事後学習	アウトリーチの用語についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
4	授業内容	相談援助における社会資源の活用・調整・開発
	事前・事後学習	社会資源の活用・調整・開発についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
5	授業内容	ネットワーキングとは
	事前・事後学習	ネットワーキングの用語についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
6	授業内容	集団を活用した相談援助について
	事前・事後学習	グループワークについて調べておくこと。
7	授業内容	スーパービジョンとは レポート「スーパービジョンの機能について」提出は第8回目の授業日
	事前・事後学習	スーパービジョンについてまとめておくこと。レポートを作成すること。
8	授業内容	相談援助業務における記録について
	事前・事後学習	記録の意義についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
9	授業内容	相談援助における個人情報の保護の意義と留意点について
	事前・事後学習	個人情報保護の意義と留意点についてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。
10	授業内容	相談援助における情報技術の活用について
	事前・事後学習	そうだ園援助におけるIT活用について各自調べておくこと。
11	授業内容	事例検討の視点 事例分析の意義、目的、方法及び留意点について
	事前・事後学習	ケーススタディとは何かについてテキストを参照にしてノートにまとめておくこと。A
12	授業内容	相談援助の実際 社会的排除の事例①
	事前・事後学習	事例を分析して各自ノートにまとめておくこと。
13	授業内容	相談援助の実際 社会的排除の事例②
	事前・事後学習	事例を分析して各自ノートにまとめておくこと。
14	授業内容	相談援助の実際 DV、虐待の事例
	事前・事後学習	事例を分析して各自ノートにまとめておくこと。
15	授業内容	相談援助に実際 接近困難な利用者へのアプローチ 授業のまとめ
	事前・事後学習	事例を分析して各自ノートにまとめておくこと。試験対策を行うこと。